かん字で作文③

年　組　なまえ

◎ □のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪　雲　風　鳥　流

かん字で作文③

年　組　なまえ

◎□のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪　雲　風　鳥　流

※えを書きましょう。

かん字で作文③

年　組　なまえ

れい

◎ □のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪　雲　風　鳥　流

「お母さん。風が強くなってきたわ。雪が風に流されて前が見えない。」

「がんばるのよ。風にまけないで。雪にまけないで。もっとはばたいて。」

雲が重くたれこめた、北の国を白鳥のお母さんと白鳥の子どものスワンはお父さんをさがして今日も雪ふる中を風にむかってたびを続けます。

「風に流されるわ。もうとべない。雪が重い。雪がつめたい。」

スワンはお母さんに話します。雪雲がはやくはやく流れていきます。

「ああ、せめてあの雲にのれたら。あの雲ではねを休められたら。」

「スワン。もう少しよ。あの雪の谷をこえて、風の生まれる黒い森をこえたら、あたたかないずみが流れ出る七色のみずうみがあるわ。そこは雪もなく、風もなく、鳥たちがしあわせにくらす春の鳥の森。そこにお父さんはいるわ。」